

こっこめ通信 03 2013

ハ丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「いろんなことを教わって」号

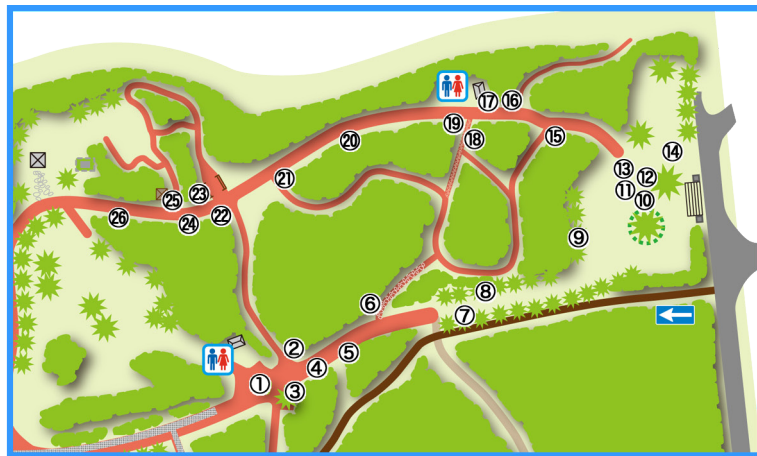
2月下旬になってやっとオオシマザクラのつぼみが膨らんできました。今年は寒いので、咲き始めるのにはもう少しかかりそうですね。でもその寒さのおかげで、ソメイヨシノの花がたくさん見られるかもしれません。そもそも島の場合、ソメイヨシノは、冬が寒くないので花芽が多くありません。今年のサクラ、ちょっと期待しています。

さて、今回は「樹名板を取り付けました」「デジタルカメラで撮る植物写真講座」についてのお話です。

樹名板を取り付けました

2月18日、八丈ネイチャークラブの方々が植物公園内で樹名板の取り付け作業を行ってくれました。この作業は、12月の八丈学講座で行う予定でしたが、当日は天候が悪く、延期になっていたものです。樹名板を付ける木々の選定は、11月の八丈学講座「公園の樹木を調べよう」で行いました。今回はその中でサブエントランス周辺の学習の森（下の公園地図拡大場所）で16種、26枚の樹名板が取り付けられました。

樹名板を付けた木を少し紹介すると、お花見で大人気のソメイヨシノの片親「オオシマザクラ」、黄八丈の黒色の染料になる「スダジイ」（秋に実るシイの実はとっても美味しいです）、樺色の染料になる「タブノキ」、小笠原から持ち込まれた不思議な形の「タコノキ」、観賞用植物で売ってるけど実は高木になる「インドゴムノキ」、秋に咲く花はキンモクセイのような素敵な香りの「シマモクセイ」、島唯一の自生針葉樹「イヌマキ」、見上げると首が痛くなる「オキナヤシモドキ」、島で唯一紅葉する「ハゼノキ」、葉がマイマイガの幼虫の餌食になってしまいう「エノキ」などなど。名前と実物が一致しないことが多いですが、樹名板を見れば完璧です。園内には以前に付けた樹名板もあるので、散策しながら探してみてもいいかもしれません。ちょっと勉強になりますよ。



樹名板取り付け樹木と設置場所

モチノキ	①
ハゼノキ	②
モッコク	③ ⑥ ②⑤
オオシマザクラ	④ ⑪
ヒメユズリハ	⑤
ホルトノキ	⑦
オキナヤシモドキ	⑧
タコノキ	⑨

タブノキ	⑩ ⑬
ヤマモモ	⑫
スダジイ	⑭ ⑰ ⑳
エノキ	⑮
ヤブニッケイ	⑯
イヌマキ	⑱
インドゴムノキ	⑲
シマモクセイ	㉔

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

デジタルカメラで撮る植物写真講座

2月16・17日に写真家の川口正志氏を講師に招き、「デジタルカメラで撮る植物写真講座」を開催しました。



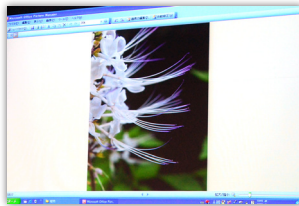
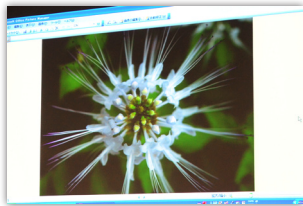
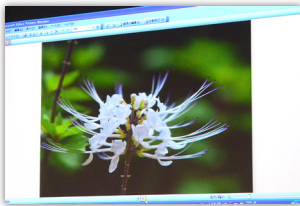
講義はスライドと実機を使って行われました

1日目は19時半から1時間半、カメラの基本的なことを中心に講義形式で行われました。

まずは、「デジタルカメラとは？」から始まり、スマートフォン・コンパクトカメラ・ミラーレス一眼・一眼レフの違いやそれぞれのメリット・デメリットなどを実際のカメラを使って説明されました。そして、「『目で見てきれいなら写真に撮ってもきれい』なはずですが…。」と前置きをして、良い写真の条件である「ピント」「露出」「構図」、そしてデジタルカメラになってから加わった「色」

についての説明が続きました。

「ピント」は、雄しべや雌しべに合わせるのが基本であり、被写界深度（ピントの合う幅）を変えることで花を引き立たせる



ることもできる。「構図」は、アングル（撮影する角度）を変えると同じ花でも表情が違って見えることを実際に撮影した写真をスライド（写真上3枚）などで見せていただきました。「色」では、あえてホワイトバランスを変えたり、被写体にあたる光りの向き（背後からの逆光など）を利用すると面白い写真が撮れるそうです。「露出」など少し難しい話がありましたが、参加者の「良い写真が撮りたい！」という熱気に押され、時間が経つのも忘れるほどでした。



マツバランの撮影をする川口さんと参加者

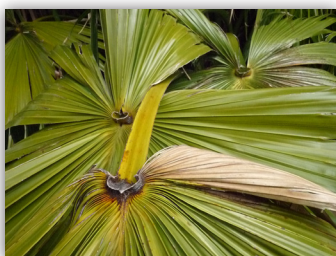
2日目は、9時半から2時間、植物公園や温室内で参加者ご自身のデジタルカメラを使い、実際に撮影をしながら指導して頂きました。講座終了時に、自分の気に入った作品を提出することになり、参加者はプレッシャーを感じつつカメラを構えていましたね。

まず公園内では、カナリーヤシに着生しているシダ植物マツバランが課題の被写体となり、細い茎や小さな孢子嚢群にピントを合わせるのに苦労していました。撮影の合間には、普段は目にする事のできないプロカメラマンが撮影する姿や撮影している液晶画面を真剣にのぞき込む姿もありました。その後、芝生に生えるスミレの仲間を撮影するため、前日教えていただいた構図（アングル）を変えるため芝生に寝転がりカメラを構える姿もみられました。途中途中でカメラのセッティングや撮影方法などのアドバイスも受け、最後に温室内のいろいろな花を選んで撮影して終了となりました。講座終了後も川口さんは質問攻めで動けなくなるほどで、参加者の熱意はすごかったです。

最後に参加者の作品をいくつか紹介させていただきます。



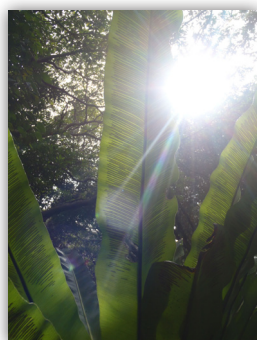
「春の糸」



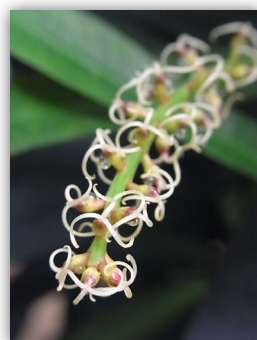
「波」



「イキがる」



「オオタニワタリ」



「くるんくるん」



「墨し」

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は2月10日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成25年第2回）参加者：沖山、黒田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			6	サカキカズラ	蕾
1	アオノクマタケラン	実が残る	7	スダジイ	虫コブが割れる
2	アキノノゲシ	花と実	8	タイミンタチバナ	蕾
3	アシタバ	実	9	テイカカズラ	実が割れる
4	イワニガナ	花	10	ハチジョウキブシ	蕾
5	ウスベニニガナ	花と実	11	ヒサカキ	蕾
6	ウラシマソウ	蕾	12	ホウライカズラ	熟した実と虫コブ
7	オオアレチノギク	花	13	ホルトノキ	実が残る
8	オオシマカンズゲ	花と実	14	マンリョウ	実が残る
9	オニタビラコ	花と実	15	モチノキ	蕾、実も残る
10	オランダミミナグサ	花	16	ヤツデ	実
11	キツネノマゴ	花	17	ヤマモモ	蕾
12	コケリンドウ	蕾	シダ植物		
13	コシロノセンダンブグサ	花と実	1	イシカグマ	
14	コスミレ	花	2	イノデ	枯死寸前の一株
15	コハコベ	花	3	オオイタチシダ	
16	コマツヨイグサ	実	4	オオタニワタリ	
17	シチトウスミレ	花	5	オニヤブソテツ	
18	シマテンナンショウ	花	6	カニクサ	
19	タネツケバナ	花と実	7	タチクラマゴケ	紅葉
20	ツワブキ	実	8	タチシノブ	
21	トキワハゼ	花	9	タマシダ	
22	ハキダメギク	花	10	ノキシノブ	胞子が目立つ
23	ハナイバナ	花	11	ハチジョウカナワラビ	
24	フウトウカズラ	熟した実	12	ハチジョウシダ	
25	ホトケノザ	蕾	13	ヒトツバ	新芽が伸び始め
木本			14	ホシダ	
1	アオキ	蕾	15	ホラシノブ	
2	イタビカズラ	実	16	マツバラン	
3	イヌビワ	実	17	マメツタ	
4	オオバヤシャブシ	雄花の蕾	18	ヤマイトチシダ	
5	ガクアジサイ	実			

今回はシダ植物18種を含め、60種の植物を観察しました。樹木の蕾が目立ち始め、スミレも咲いて春が遠くない事を感じさせてくれました。また植物公園内でレンジャク類の目撃情報があり、上空が気になっていたためか、観察できた植物の種数が伸びなかったかもしれません。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、写真講座の被写体にもなった「マツバラン」にスポットを当ててみたいと思います。



マツバラン

Psilotum nudum

マツバラン科のシダ植物。日本では本州から琉球にかけて、また世界の熱帯・亜熱帯に広く分布。

苔むした岩上や樹幹などに着生します。古くから栽培され色々な品種があります。環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類や富士箱根伊豆国立公園指定植物に指定されています。

2013 八丈ビジターセンター 3 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
					1 07:03 00:53 19:36 13:16	2 ガイドウォーク 07:29 01:25 20:24 13:56
3 ガイドウォーク 07:56 01:57 21:25 14:43	4	☾ 啓蟄 5 09:05 03:15 17:07	6 01:28 04:51 10:15 18:51	7 03:00 07:48 12:39 20:15	8 03:42 09:06 14:19 21:14	9 ガイドウォーク 04:14 09:50 15:23 22:00
10 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 04:43 10:26 16:14 22:38	11	● 12 05:34 11:31 17:38 23:44	13 05:57 12:02 18:16	14 06:20 00:12 18:52 12:33	15 06:42 00:39 19:28 13:05	16 ガイドウォーク 07:05 01:05 20:06 13:39
17 ガイドウォーク 07:28 01:29 20:49 14:16	18	19	☾ 春分 20 ガイドウォーク 08:51 02:51 17:20	21 02:09 05:23 10:19 18:57	22 03:01 08:35 13:11 20:10	23 ガイドウォーク 八丈学講座 「春の植物観察会」 03:27 09:14 14:28 21:01
24 ガイドウォーク 特別行事 「ハーブティーでお花見」 03:50 09:42 15:20 21:41	25 04:13 10:10 16:04 22:17	26 04:38 10:39 16:45 22:52	27 ☾ 05:03 11:10 17:27 23:26	28 05:30 11:43 18:09	29 05:57 00:00 18:53 12:18	30 ガイドウォーク 06:25 00:34 19:40 12:56
31 ガイドウォーク 06:53 01:08 20:32 13:38				この色の日は 特別行事があります		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
3/10（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「春の植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、ホテル水路で春の植物を一緒に探しましょう！
3/23（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 鴨川ホテル水路 集合・解散 参加費：50円 定員：15名

春の特別行事 「ハーブティーでお花見」

今年もオオシマザクラの下でクッキー＆お茶でお花見をしましょう！太鼓もあるよ！
3/24（13:30～ 約1時間半）
だれでも 植物公園（日本の森）集合・解散 参加費：200円 定員：20名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2013.3.1 第142号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

デジタルカメラが普及して、植物の写真を撮る方も増えてきています。撮影した画像で「この植物なんですか？」と聞かれるととても教えやすいです。何枚も撮影できるデジタルカメラですから、分からない生きものは撮影しておくといいかもかもしれませんね。（高）